

A 当仁コース

八ヶ寺めぐりウォーキング

全長約2.5km 40分

当仁エリアの特長

当仁地区は史跡などが多く残っている歴史のまちです。黒門川通りは、黒門橋交差点と福浜団地交差点入口を結ぶ街路です。通りに沿ってせせらぎがあり、緑も多いので散歩を楽しむ人がよく見られます。市の第21回都市景観賞にも選ばれ、身近な水辺空間として地域の人に親しまれています。



史跡や民話を示す石碑のピクトグラム

車の通りに注意

スタート
ぶくぶくプラザ

ゴール
大濠公園

NEXT 散策ポイント

A 当仁コース ルート散策ポイント

A-01 せせらぎがっば

お父さん河童は徳利、お母さん河童は魚を持ち、子どもの河童は夢を持っているといえます。

【交通】地下鉄「唐人町」徒歩6分
【住所】(緯度経度)33° 35'31.2"N / 130° 22'21.1"E



A-02 浄慶寺

唐人町の北に位置し、山号を至徳山と号しています。慶安2(1649)年に荒戸より現在の地に移りました。

【交通】地下鉄「唐人町」下車徒歩5分
西鉄バス「唐人町三丁目」バス停 下車徒歩1分
【住所】唐人町三丁目10-49
【問い合わせ】☎751-0517 / HP:http://www.jyokeiji.jp/



A-03 妙法寺

江戸の時代、この妙法寺は当時の宗教政策の取り締りの任を受けその役割を担っていました。

【交通】地下鉄「唐人町」下車徒歩7分
西鉄バス「唐人町三丁目」下車徒歩1分
【住所】唐人町三丁目10-41
【問い合わせ】☎751-4421 / HP:http://myouhouji.biz/



A-04 大圓寺

福岡県内最初の五重塔がそびえます。ご本尊は不燃(焼けず)の大仏と呼ばれ信仰されています。

【交通】地下鉄「唐人町」下車徒歩5分
西鉄バス「福浜二丁目」下車徒歩3分
【住所】唐人町三丁目10-9【問い合わせ】☎751-5494
HP:http://www.daienji.com/



A-05 正光寺

正光寺境内には菩提樹があり、また幕末の志士たちの墓があります。

【交通】地下鉄「唐人町」下車徒歩7分
【住所】唐人町三丁目3-40
【問い合わせ】☎741-5793



A-06 西学問所甘棠館跡

福岡藩7代藩主・黒田治之(はるゆき)の遺命により、天明4(1784)年に西学問所・甘棠館が開校しました。現在、唐人町商店街より1つ北の通りに跡碑が立っています。甘棠館では主に徂徠(そらい)学が講じられました。寛政10(1798)年、近くから出火した火災によって類焼に遭い、廃校となりました。初代館長の亀井南冥(なんめい)は、志賀島で発見された金印が歴史的に重要なものだといち早く見抜いたことでも有名です。

【交通】地下鉄「唐人町」下車徒歩4分
【住所】唐人町三丁目2-6



A-07 妙安寺

妙安寺の初祖は日延(朝鮮国の人)で、三代藩主・黒田光之公から寺地を賜り当寺を建立しました。

【交通】地下鉄「唐人町」下車徒歩6分
【住所】唐人町二丁目4-59【問い合わせ】☎751-4024



A-08 吉祥寺

400年の歴史を持つ曹洞宗のお寺で、十一面観音や地藏菩薩があります。

【交通】地下鉄「唐人町」下車徒歩4分
【住所】唐人町二丁目4-1【問い合わせ】☎751-2086



A-09 成道寺

江戸時代の元禄期に唐人町と某町の火消したちの間で起きたけんか、某町に死者が出たとき、唐人町は町奉行から下手人の差し出しを求められました。唐人町に住む浪人の森八兵衛はこの話を聞き、以前大病を患った際に隣人から受けた恩義に報いたいと、自ら身代わりを申し出て処刑されました。町民がその犠牲心を尊び、供養のために建てたのが成道寺内の八兵衛地蔵です。今日では消防の守り地蔵とあがめられ、毎年8月の祭りに、各町の消防団が参詣に訪れます。

【交通】地下鉄「唐人町」下車徒歩4分
【住所】唐人町一丁目8-53【問い合わせ】☎751-3377



A-10 善龍寺

善龍寺の山門には甘棠館の館長だった亀井南冥が書いたとされる「瑞雲」という扁額(横に長い額)があります。

【交通】地下鉄「唐人町」下車徒歩3分
【住所】唐人町一丁目8-55
【問い合わせ】☎741-3715



A-11 唐人町商店街

唐津街道を行き交う人たちに商売を行っていた町家が起源の唐人町商店街。福岡藩の黒田家御用達だった和菓子処などがあり、新旧の波が調和する商店街です。唐人町プラザ・甘棠館では、演劇やコンサートなどが開催されています。

【交通】地下鉄「唐人町」下車徒歩1分
【問い合わせ】☎734-0524 / FAX734-0524
HP:http://tojinmachi.net/【トイレ】有



A-12 大濠公園

福岡城の外濠を利用して、中国の西湖をモデルにして造られました。池の周囲は約2kmで散歩やジョギングなどに多くの人が利用しています。

【交通】地下鉄「大濠公園」唐人町下車徒歩7分
【問い合わせ】大濠・西公園管理事務所☎741-2004
HP:http://www.ohorikouen.jp/



A 当仁コース 周辺散策ポイント

A-13 浄満寺

儒学者・亀井南冥とその一族の墓があることで有名です。南冥は、福岡藩に東西2つの藩校が開校したとき、唐人町の西学問所・甘棠館の初代館長になりました。南冥の学問は子弟に受け継がれ、廣田弘毅(P17-C-07参照)や、鳥飼八幡宮に銅像が立つ戦前の政治家・中野正剛(せいごう)が彼の影響を受けました。

【交通】西鉄バス「今川橋」下車すぐ
地下鉄「西新」下車徒歩8分
【住所】地行二丁目3-3
【問い合わせ】☎751-2169
HP:http://joumanji.com/



A-14 金龍寺

本堂前の掃き清められた砂が美しい曹洞宗の寺です。境内には東洋のアリストテレスとたたえられる江戸時代の学者・貝原益軒の墓と座像があります。益軒は本草学や儒学など幅広い分野で著作を残したほか、福岡藩の歴史を書いた「黒田家譜」や地誌「筑前国続風土記」を著しました。また、大正から昭和にかけて活躍した劇作家・倉田百三(ひやくぞう)が戯曲「俊寛」を執筆した場所でもあり、境内には百三の歌碑が立っています。

【交通】西鉄バス「今川橋」下車すぐ
地下鉄「西新」下車徒歩8分
【住所】今川二丁目3-23
【問い合わせ】☎741-8942



A-15 やな橋跡碑

やな橋は菟川(こもがわ)に架かっていた橋です。菟川を地下水路化して作った道路と唐津街道が交わる場所に、かつて橋があったことを示す石碑が立っています。江戸時代に、魚を捕るための「築(やな)」が仕掛けられていたことからその名が付いたやな橋に、当時の生活文化を知ることができます。

【交通】地下鉄「唐人町」下車徒歩8分
【住所】今川二丁目
(緯度経度)33° 35'19.2"N / 130° 22'12.1"E



A-16 なぎさ橋

近代的なビルが立ち並ぶ「シーサイドももち」の真ん中を通って博多湾へ悠々と流れ出る樋井川。都市高速1号線のすぐ北側に架かるなぎさ橋は、川と海がまさに融合しようとする場所に架かっています。橋を挟んで続く海浜公園は都心の貴重な砂浜として市民に親しまれ、夏は海水浴客などでにぎわいます。



A-17 ふれあい橋

上下2階建てになっているふれあい橋は、中世ヨーロッパの城を思い起こさせるような橋。恋人や夫婦同士の散歩にはムード満点の場所です。橋の上の広場には、イギリス人の彫刻家が制作した2羽のうさぎのモニュメント。エネルギーに飛び跳ねているその姿も必見です。



A-18 今川橋

今川橋は旧唐津街道にあり、城下町福岡から、城下の西に新しくできた西新町に入る所に架かっていた橋です。地名にも残る「今川」は、かつて草香江の辺りで博多湾の入江に通じていた樋井川の流れを、福岡城築城の際に西に導いて現在の流れにしたことから今の川、今川と呼ぶようになりまし。



A-19 伊崎漁港夕市

福浜地区の埋め立てに伴い、伊崎漁港は西公園下から現在の場所に移動しました。夕市は平成6年から始まったもので、毎週土曜日の午後3時から開かれています。早朝が苦手な人でも、午後にはぶらりと立ち寄ることができる「おさかな市」です。出荷されているのは、エビやアナゴなど当日に博多湾や玄界灘で捕れた天然のもので、鮮度は抜群。出店している漁師さんたちとの値引き交渉や料理方法などの会話も楽しさの一つです。

【住所】福浜一丁目23【問い合わせ】福岡市漁業協同組合伊崎支所☎741-2970
【営業時間】毎週土曜日15:00~

